

# 2014年度 第3四半期 決算概要

2015年 2月3日  
パナソニック株式会社

## 本日の説明要旨

2

- ✓ **売上** : 為替影響を除いて実質減収となるも  
車載・住宅関連は堅調に推移
- ✓ **営業利益** : 課題事業の改善は着実に進み前年並み確保  
(営業利益率5.7%)

## 連結決算概要

(億円)

		14年度 3Q	13年度 3Q	前年比 / 差	
	国内	9,277	9,703	96%	
	海外	10,687	10,032	107%	(97%)*
売上高		19,964	19,735	101%	(96%)* +229
営業利益		1,133 (5.7%)	1,166 (5.9%)	97%	▲33
税引前利益		862 (4.3%)	996 (5.0%)	86%	▲134
当社株主に帰属する 当期純利益		595 (3.0%)	737 (3.7%)	81%	▲142
為替 レート	1USドル	115円	100円		
	1ユーロ	143円	137円		
	1人民元	18.62円	16.52円		

\* 為替の影響を除いた  
現地通貨ベース(非監査)

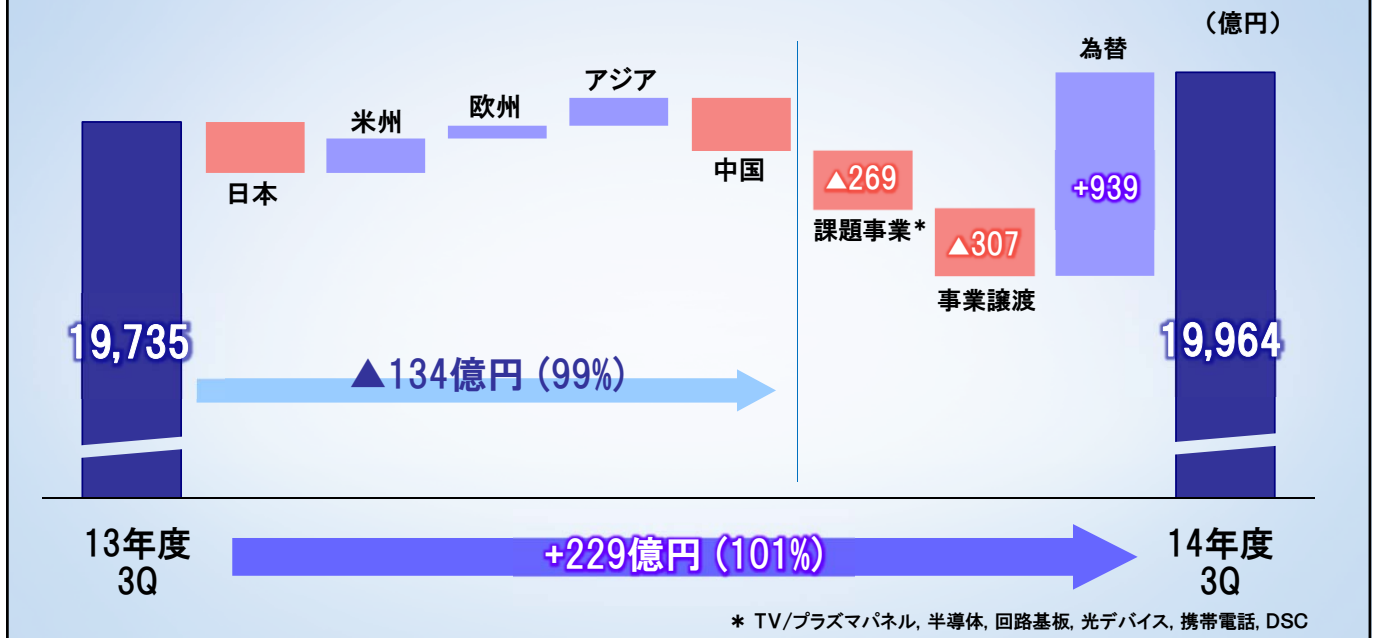
## 連結決算概要(累計)

(億円)

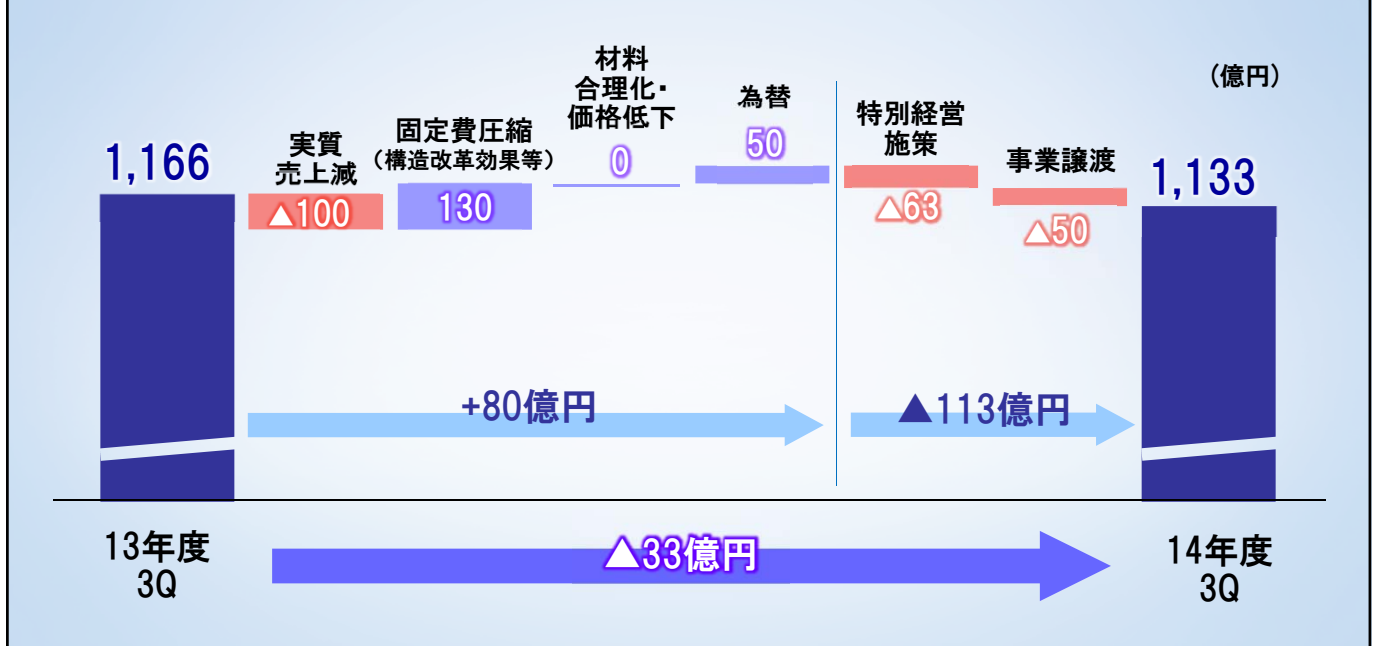
		14年度 3Q累計	13年度 3Q累計	前年比 / 差	
	国内	26,776	27,576	97%	
	海外	30,417	29,222	104%	(99%)*
売上高		57,193	56,798	101%	(98%)* +395
営業利益		2,903 (5.1%)	2,632 (4.6%)	110%	+271
税引前利益		2,081 (3.6%)	3,070 (5.4%)	68%	▲989
当社株主に帰属する 当期純利益		1,404 (2.5%)	2,430 (4.3%)	58%	▲1,026
為替 レート	1USドル	107円	99円		
	1ユーロ	140円	132円		
	1人民元	17.29円	16.25円		

\* 為替の影響を除いた  
現地通貨ベース(非監査)

## 地域別 売上高分析(前年差)



## 要因別 営業利益分析(前年差)



## 営業外損益等

(億円)

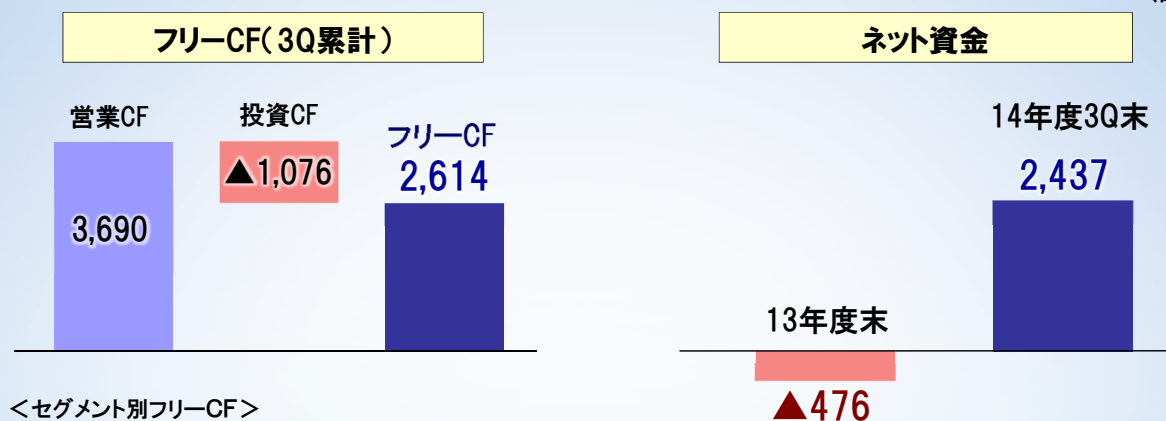
	14年度3Q	前年差
営業利益	1,133	▲33
営業外損益*	▲271	▲101
税引前利益	862	▲134
法人税等	235	▲9
持分法による投資利益	29	+7
非支配持分帰属利益控除前当期純利益	656	▲118
非支配持分帰属利益	61	+24
当社株主に帰属する当期純利益	595	▲142

\*営業外損益の内訳

事業構造改革費用	▲105	+276
早期退職一時金	▲33	+34

## フリーCF・ネット資金

(億円)



&lt;セグメント別フリーCF&gt;

アプライアンス	▲38
エコソリューションズ	353
AVCネットワークス	323
オートモーティブ&インダストリアルシステムズ	649

## セグメント別実績

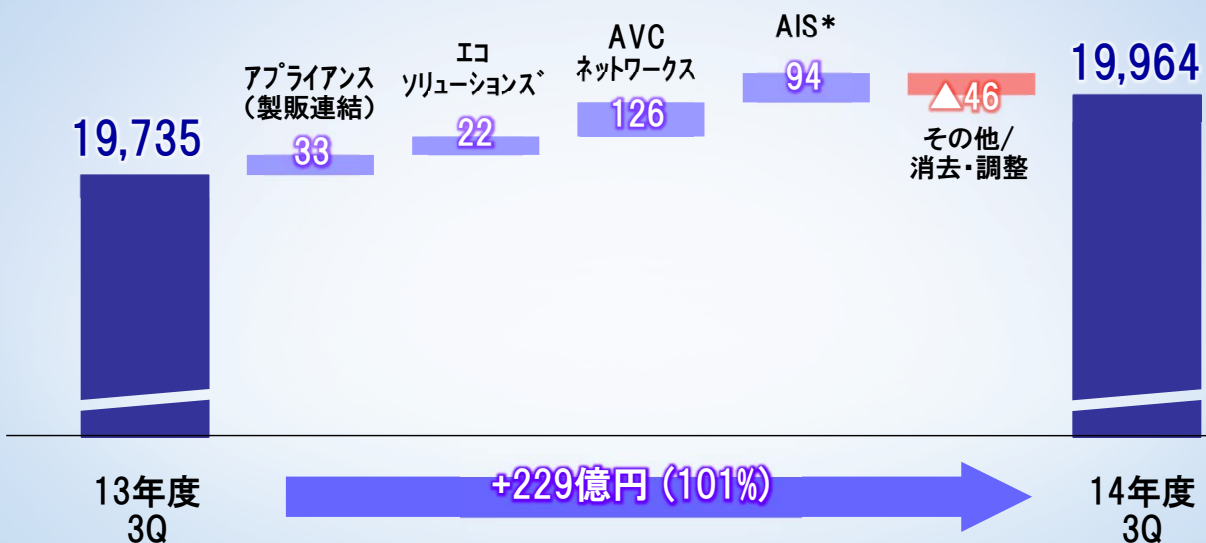
(億円)

	2014年度3Q				2014年度3Q累計			
	売上高	前年比	営業利益	前年差	売上高	前年比	営業利益	前年差
ア プ ラ イ ア ン ス	4,643	102%	122	▲9	13,807	101%	446	+180
エコソリューションズ	4,339	101%	339	+28	12,243	102%	757	+50
A V C ネットワークス	2,962	104%	177	+61	8,278	99%	216	+124
オ ー ト モ ー テ ィ フ ・ & インダストリアルシステムズ(AIS)	7,009	101%	281	+37	20,791	102%	803	+79
そ の 他	1,493	81%	▲4	▲41	4,472	82%	15	▲88
消 去 ・ 調 整	▲482	—	218	▲109	▲2,398	—	666	▲74
連 結 決 算	19,964	101%	1,133	▲33	57,193	101%	2,903	+271
アプライアンス(製販連結)*	6,283	101%	184	▲33	18,012	101%	595	+159

\*「アプライアンス(製販連結)」には、「消去・調整」に含まれているコンシューマ商品の販売部門の売上高および営業利益を含んでおります。

## セグメント別 売上高増減(前年差)

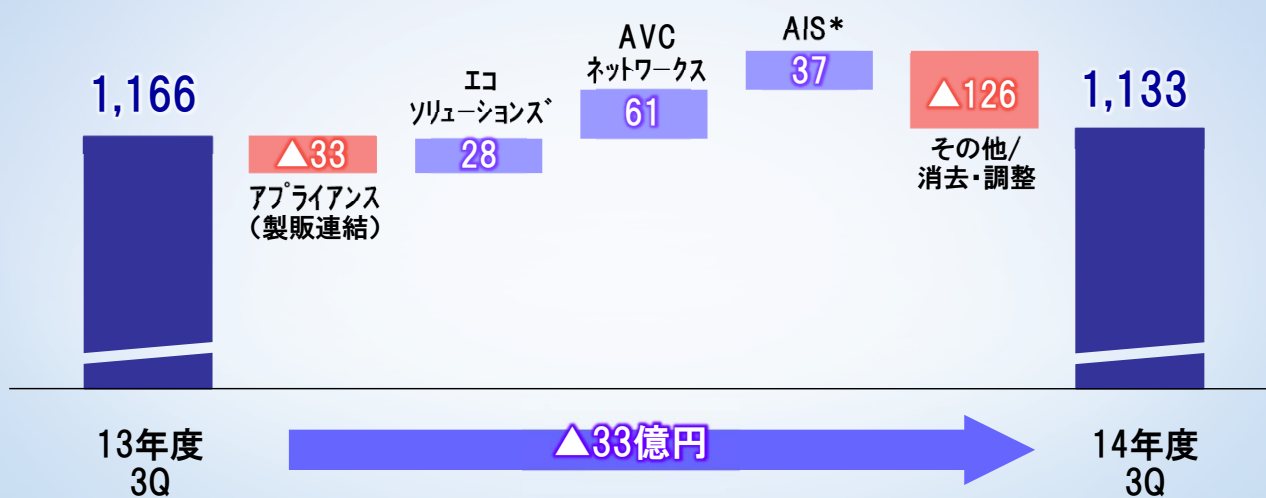
(億円)



\*オートモーティブ&インダストリアルシステムズ

## セグメント別 営業利益増減(前年差)

(億円)



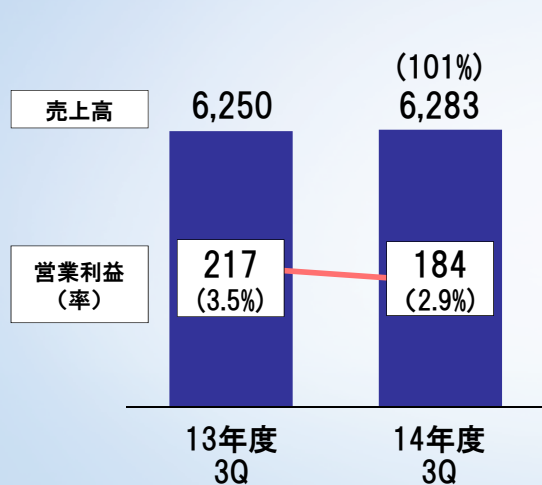
\*オートモーティブ&amp;インダストリアルシステムズ

## セグメント別実績

## アプライアンス(製販連結)

(億円)

&lt;14年度3Q 実績&gt;



### 売上

増収

- 白物商品、デバイスが堅調に推移
- テレビ事業は販売減

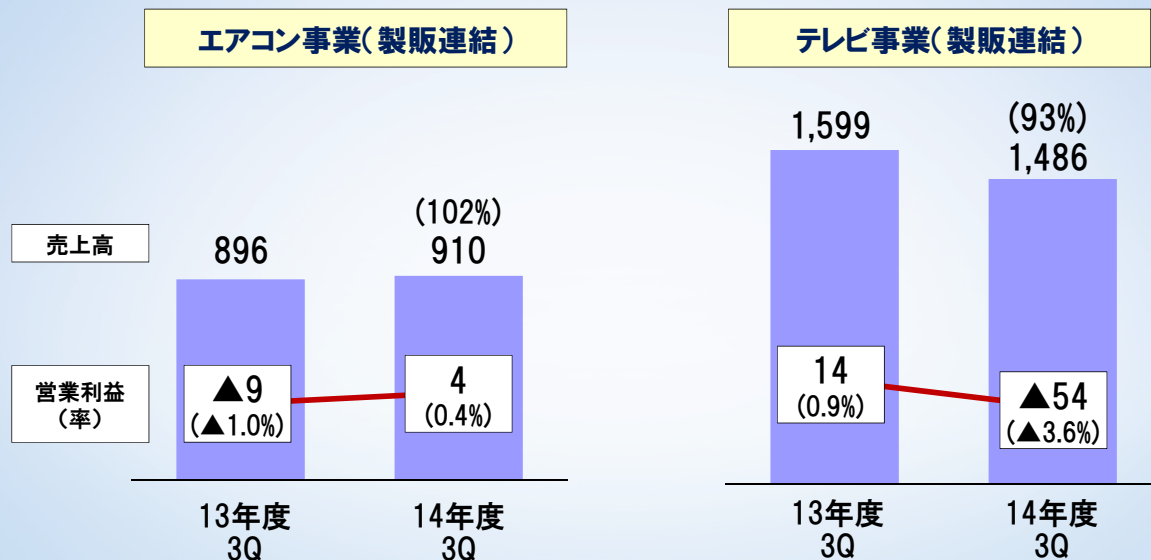
### 営業利益

減益

- テレビの価格競争の激化
- 為替(円安)の急激な進行

## アプライアンス 主要課題事業の実績

(億円)

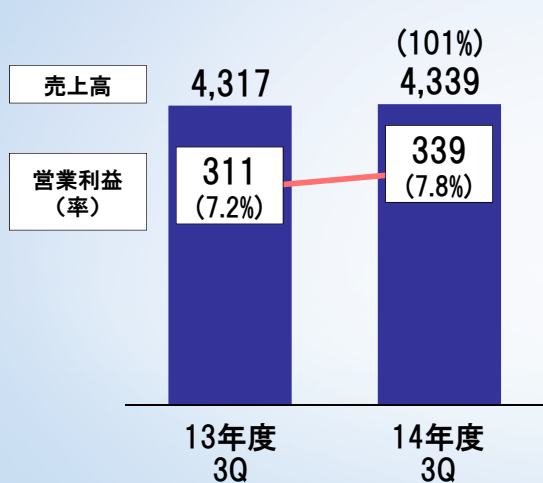


### セグメント別実績

## エコソリューションズ

(億円)

&lt;14年度3Q 実績&gt;



### 売上

- 国内は住宅用ソーラー、LED照明が好調に推移
- 海外はVIKO社新規連結に加え、戦略地域で伸長

増収

### 営業利益

- ソーラーなどの販売増に加え、合理化等の取り組みが寄与

増益

## エコソリューションズ 事業部情報

(億円)

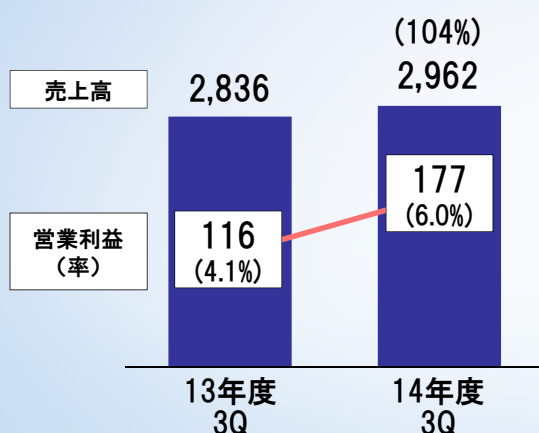
	2014年度3Q	
	売上高	前年比
ライティング事業部	888	98%
エネルギーシステム事業部	1,050	108%
ハウジングシステム事業部	983	88%
パナソニック エコシステムズ(株)	433	120%

### セグメント別実績

## AVCネットワークス

(億円)

&lt;14年度3Q 実績&gt;



売上

増収

- 為替のプラス影響もあり、モビリティ・バーティカル\*等の事業で増収

営業利益

増益

- 増販に伴う利益改善
- 昨年来の課題事業改革効果

\*構成事業部

- ・モビリティ事業 :ITプロダクト(事)、ストレージ(事)
- ・パーティカルソリューション事業 :アビオニクス(事)、インフラシステム(事)

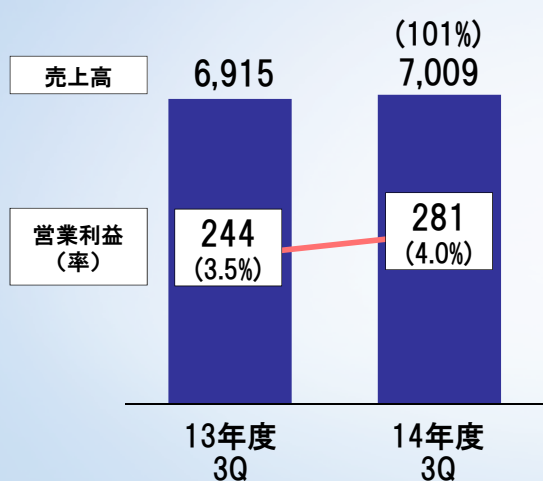


## セグメント別実績

## オートモーティブ&amp;インダストリアルシステムズ (AIS)

(億円)

&lt;14年度3Q 実績&gt;



## 売上

## 増収

- 車載関連、電子部品実装機が好調、事業終息・譲渡による減販をカバー

## 営業利益

## 増益

- 将来に向けた車載関連の研究開発費は増加
- 合理化、固定費削減が増益に寄与

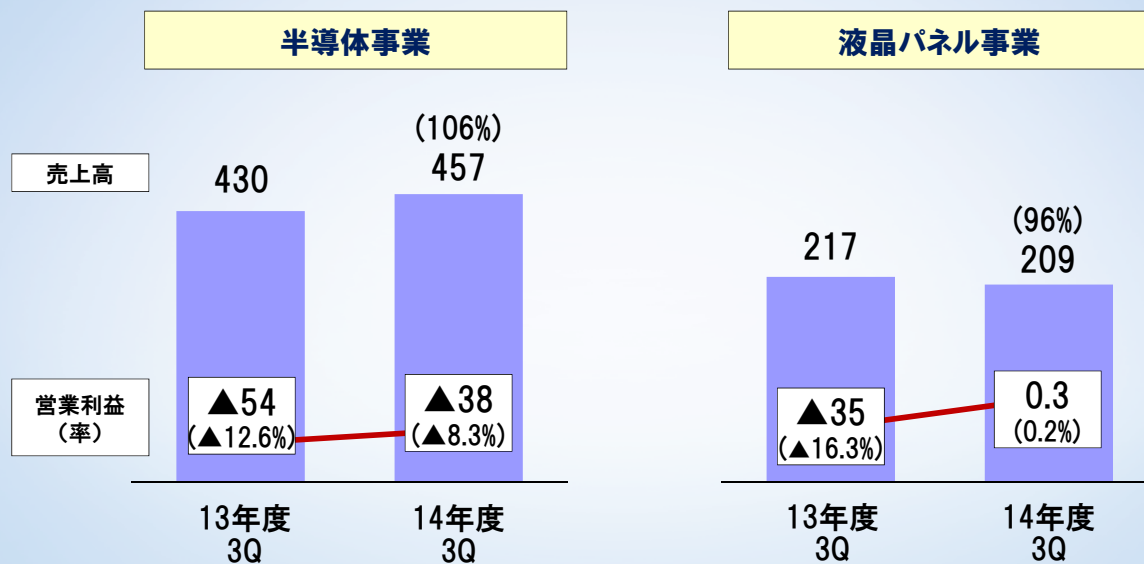
## AIS 事業部情報

(億円)

	2014年度3Q	
	売上高	前年比
インフォテインメント事業部	1,258	101%
小型二次電池事業部	806	110%

## AIS 主要課題事業の実績

(億円)



# Panasonic

本プレゼンテーションには、パナソニックグループの「将来予想に関する記述」に該当する情報が記載されています。本プレゼンテーションにおける記述のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、かかる将来予想に関する記述に該当します。これら将来予想に関する記述は、現在入手可能な情報に鑑みてなされたパナソニックグループの仮定および判断に基づくものであり、これには既知または未知のリスクおよび不確実性ならびにその他の要因が内在しており、それらの要因による影響を受けるおそれがあります。かかるリスク、不確実性およびその他の要因は、かかる将来予想に関する記述に明示的または黙示的に示されるパナソニックグループの将来における業績、経営結果、財務内容に関してこれらと大幅に異なる結果をもたらすおそれがあります。パナソニックグループは、本プレゼンテーションの日付後において、将来予想に関する記述を更新して公表する義務を負うものではありません。投資家の皆様におかれましては、金融商品取引法に基づく今後の提出書類およびその他の当社の行う開示をご参照下さい。

なお、上記のリスク、不確実性およびその他の要因の例としては、次のものが挙げられますが、これらに限られるものではありません。かかるリスク、不確実性およびその他の要因は、当社の有価証券報告書等にも記載されていますのでご参照下さい。

- 米州、欧州、日本、中国その他のアジア諸国の経済情勢、特に個人消費および企業による設備投資の動向
- 多岐にわたる製品・地域市場におけるエレクトロニクス機器および部品に対する産業界や消費者の需要の変動
- ドル、ユーロ、人民元等の対円為替相場の過度な変動により外貨建てで取引される製品・サービスなどのコストおよび価格が影響を受ける可能性
- 資金調達環境の変化等により、パナソニックグループの資金調達コストが増加する可能性
- 急速な技術革新および変わりやすい消費者嗜好に対応し、新製品を価格・技術競争の激しい市場へ遅滞なくかつ低コストで投入することができない可能性
- 他企業との提携またはM&Aで期待どおりの成果を上げられない可能性
- パナソニックグループが他企業と提携・協調する事業の動向（BtoB（企業向け）分野における、依存度の高い特定の取引先からの企業努力を上回る価格下落圧力や製品需要の減少等の可能性を含む）
- 多岐にわたる製品分野および地域において競争力を維持することができなくなる可能性
- 製品やサービスに関する何らかの欠陥・瑕疵等により費用負担が生じる可能性
- 第三者の特許その他の知的財産権を使用する上での制約
- 諸外国による現在および将来の貿易・通商規制、労働・生産体制への何らかの規制等（直接・間接を問わない）
- パナソニックグループが保有する有価証券およびその他資産の時価や有形固定資産、のれんなどの長期性資産および繰延税金資産等の評価の変動、その他会計上の方針や規制の変更・強化
- 地震等自然災害の発生、感染症の世界的流行、サプライチェーンの寸断、その他パナソニックグループの事業活動に混乱を与える可能性のある要素

## (参考)事業部一覧

### アプライアンス

エ ア コ ン 事 業 部
冷 熱 空 調 デ バ イ ス 事 業 部
冷 蔵 庫 事 業 部
コ ー ル ド チ ェ ー ン 事 業 部
ラ ン ド リ ー ・ ク リ ー ナ ー 事 業 部
キ ッ チ ン ア プ ラ イ ア ン ス 事 業 部
ビ ュ ー テ ィ ・ リ ビ ン グ 事 業 部
ホ ー ム エ ン タ ー テ ィ ン メ ン ト 事 業 部
モ ー タ 事 業 部
ス マ ー ト エ ネ ル ギ ー シ ス テ ム 事 業 部
パ ナ ソ ニ ッ ク サ イ ク ル テ ッ ク (株)

### AVCネットワークス

イ メ ー ジ ン グ ネ ッ ト ワ ー ク 事 業 部
ス ト レ ー ジ 事 業 部
ビ ジ ュ ア ル シ ス テ ム 事 業 部
ア ビ オ ニ ク ス 事 業 部
I T プ ロ ダ ク ツ 事 業 部
セ キ ュ リ テ ィ シ ス テ ム 事 業 部
コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン プ ロ ダ ク ツ 事 業 部
オ フ ィ ス プ ロ ダ ク ツ 事 業 部
イ ン フ ラ シ ス テ ム 事 業 部
シ ス テ ム ソ ル ュ ー シ ョ ン ズ ジャ パ ン カ ン パ ニ ー

### オートモーティブ&インダストリアルシステムズ

イ ン フ ォ テ ィ ン メ ン ト 事 業 部
電 装 シ ス テ ム 事 業 部
エ ネ ジ ー デ バ イ ス 事 業 部
パ ナ ソ ニ ッ ク ス ト レ ー ジ バ ッ テ リ ー (株)
小 型 二 次 電 池 事 業 部
車 載 電 池 事 業 部
キ ャ パ シ タ 事 業 部
回 路 部 品 事 業 部
機 構 部 品 事 業 部
電 子 材 料 事 業 部
制 御 機 器 事 業 部
パ ナ ソ ニ ッ ク セ ミ コ ン ダ ク タ ー ソ ル ュ ー シ ョ ン ズ (株)
パ ナ ソ ニ ッ ク プ レ ジ ュ ー シ ョ ン デ バ イ ス (株)
パ ナ ソ ニ ッ ク フ ァ ク ト リ ー ソ ル ュ ー シ ョ ン ズ (株)
パ ナ ソ ニ ッ ク 溶 接 シ ス テ ム (株)
パ ナ ソ ニ ッ ク 液 晶 デ ィ ス プ レ イ (株)

### エコソリューションズ

ラ イ テ ィ ン グ 事 業 部
エ ネ ジ ー シ ス テ ム 事 業 部
ハ ウ ジ ン グ シ ス テ ム 事 業 部
パ ナ ソ ニ ッ ク エ コ シ ス テ ム ズ (株)

### その他

パ ナ ホ ー ム (株)
シ ス テ ム L S I 事 業 部

2015年2月3日時点